

Z会進学教室 葛西通信 8月号

葛西教室に通う本科生の皆さんには、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切にし、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

葛西教室より

葛西教室の先生の声をお伝えします。

「リモート自宅警備員斎藤の猫話」

理科 斎藤 竜一先生

こんにちは。スタッフの宮脇です。葛西教室で理科を受講された生徒さんの中には、斎藤先生の猫話を聞いたことがある人は多いのではないかでしょうか？または胸ポケットのちゅ～るを見たことがある人もいらっしゃるのではないかでしょうか。

今回は、斎藤先生と猫の謎に満ちた関係性をインタビューから紐解きます。読み終わった時、斎藤先生の胸に挿してあるちゅ～るが今までとは違って見えるかもしれません。普段何気なく見かける野良猫ちゃん達がどんな風に生きているのか、斎藤先生の猫活から覗いてみませんか？



第一章 出会い 2020.02~05



「先生が本格的に猫と交信し始めたのはいつ頃ですか？」



「コロナが流行し始めてからですかね。もともと地域猫として、住民同士でお世話をしていたんだけど、段々飼われて減っちゃったんですよ。でも、寒い日の夜遅くに空地の真ん中でボーッとお座りしている黒猫を見かけて、何とかしてあげたいなと思ったことがきっかけかな。」



「どのようなことから始めたのでしょうか？」



「最初はあつめるために毛布を敷き詰めた箱を置きました。作り方はネットで調べて。」



「それは猫ちゃんたち喜びますね！」



「いや全然。エサがないと寄ってこないんですよ。だから少しずつエサを置いたのが始まりですね。」



「エサというのはどういうものを用意されたのでしょうか？」



「パックで売られている子猫用のやつです。2~3ヶ月したら猫が食べてくれるようになったんですよ。そうするとほら、食べているところ見たくなるじゃないですか。」

齋藤先生

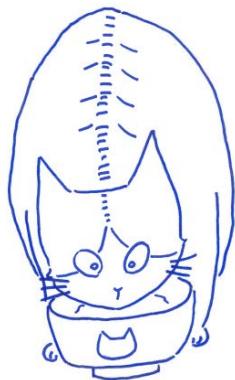


「見たいです！！！」



「エサを置いているところに監視カメラをつけることにしました。カメラで撮っているので、どこでも確認できるようになりました。カメラつけてわかったんですけど、夜中にタヌキがエサを食べに来ることもありましたね。」

齋藤先生



「猫投資がすごいですね、笑」



「そうですかね？ そうこうしているうちに、10匹くらいの猫が常連で来るようになりましたね。で、一番最初に仲良くなった猫が三毛猫のみけこですね。」

齋藤先生

齋藤先生の仲良しにゃんこ① 自由きままなお騒がせ三毛猫 みけこ

「仲良く、、?」



「朝、昼、晩とエサをあげているんですけど、みけこは手からエサを食べてくれるようになりました。近所の人からも『なつくようになったんだねえ』と声を掛けられるようになりましたよ。」

齋藤先生

「あら素敵！」



「みけこが来なくなった時は保健所、警察、市役所に電話してめちゃくちゃ探しましたね。」

齋藤先生

「警察にまで！？ どんな感じで問い合わせられたのでしょうか？」



「まず市の生活局の人から猫の死体が上がっているかを教えてもらって、そこで見つからなければ保健所でケガして保護された猫がいないかを確認します。結局みけこは2週間後に戻ってきました。」

齋藤先生

「みけこちゃんはどこにいたのでしょうか？」



「結局2軒隣の方にエサをもらっていたみたいですよ。」

齋藤先生

「ホッ」



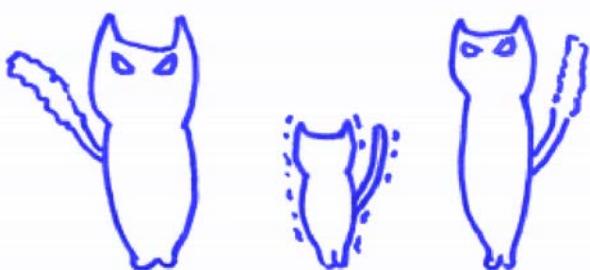
齋藤先生の仲良しにゃんこ② 猫カースト最下位な臆病猫 くーみん



「もう1匹懇意にしている猫がいて、くーみんという子です。その子はとても臆病なんですよ。カメラを見ていると夜中にエサを食べにくるけど、警戒して一口食べてすぐ逃げちゃってね。小さめの三毛猫なんだけど。」



「一口じゃお腹満たされないでしょうね、。。」





「そんな臆病なくーみんながうちにエサを食べに来てくれた時、凶暴な2匹の猫に挟まれちゃったことがあります。うちの近隣の猫たちは弱肉強食社会でエサを取り合ってしつこい喧嘩しているんですよ。」



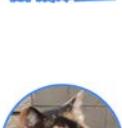
「そうなんですよ。たまたま家にいたから何とかしなきゃと思って、玄関の扉を開けて凶暴な2匹の猫を追い払ったんですよ。」



「そしたらね、くーみんなが『助けてくれた』って認識したみたいで、ついてきてくれるようにならんんですよ。」



「段々仲良くなつて、エサも隠れて一口しか食べないような子だったのに手から食べてもらえるようになります。かわいいからくーみんな専用のお皿を置いちゃつたりして。」



「近所の人からも仲良しだねって声かけられるようになりましたね。いつも決まった時間にエサを置くんですけど、くーみんなも時間ぴったりに来るんですよ。近所の人も『猫なのに時計持っているんですかね』なんて笑つたり。」



「いつも朝4時、昼12時、夜23時にあげているんですけど、段々くーみんなが私の手からしか食べなくなつてしまつたんですよ。置きっぱなしにしても、私の姿が見えないと食べないで待つようになったんですね。」



「猫がきっかけで近所の人と仲良くなり始めましたね。私の家の2軒隣の方が地域猫の元締めのような方で、各猫の素性などの情報交換をしています。」



「元締めさんは昔から私のようにエサをあげていらっしゃるので、猫情報たくさん持つてますよ。」



「いやーあまりいないですね。地域で猫を育てるにはもっとエサ場が必要だし、私のように玄関にエサを置きっぱなしだと早い者勝ちになって取り合っちゃうので良くないんですよね。やっぱり近所の人と協力して、時間帯を区切つてエサを用意するのが理想ですね。」



「ええ！ 猫ちゃんピンチじゃないですか！！」



「ごくり。」



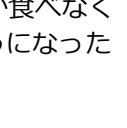
「わあ。よかったです！」



「すごい仲良しになられたんですね！」



「ご近所さんにも伝わるほどなんですね(笑)。」



「いつも朝4時、昼12時、夜23時にあげているんですけど、段々くーみんなが私の手からしか食べなくなつてしまつたんですよ。置きっぱなしにしても、私の姿が見えないと食べないで待つようになったんですね。」

「ええ！ 健気！」



センセイ？



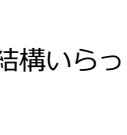
「元締め！？」



「可愛い、、、ご近所さんとよく猫話されるんですね！」



「猫がきっかけで近所の人と仲良くなり始めましたね。私の家の2軒隣の方が地域猫の元締めのような方で、各猫の素性などの情報交換をしています。」



「先生の住んでいる地域で猫のお世話をされる方って結構いらっしゃるんですか？」



「なかなかすぐに解決する問題ではないんですね、」



「まあくーみん以外の猫は置きっぱなしの工サから食べててくれて、今のところ問題はないんですけど。くーみんは私が授業終わって帰宅すると、家の前で待ってるんですよ。」



「可愛い、、！もう飼っちゃおうとはお考えにならなかつたんですか？」



第二章 真夏のネコキャッチ大作戦 -beginning- 2020.05~08

「猫を捕獲しようと決めたきっかけはあるのでしょうか？」



「くーみんが玄関の前に工サを置いたのに食べなくなつたんですよ。最初は私が見守っているだけです食べてくれたんですけど、段々玄関から離れてしまつたんです。」



「そうです。でも段々と家から離れてしまって、この辺で食べるようになつたんですよ。
5月6月くらいには近所の人から目立つようになりましたね。当時から夜明けくらいに来るんです。
毎日欠かさず来てくれますね。」



「にゃんてまめな猫ちゃん！」



～くーみんの過去～



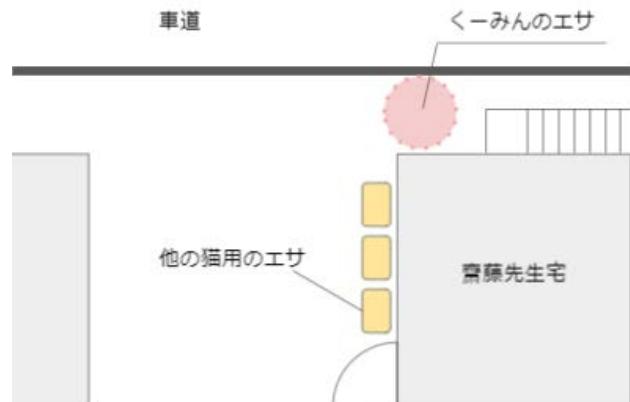
「元締めの方からくーみんの話を聞いたんです。
1年前に保護して、避妊手術して、リターンして。飼い主が現れなくてリターンされたんですね。」



「だから野良猫になつたんですね...」



「元々飼い猫だったのに妊娠して捨てられちゃつたんです。生まれてまだ8か月～1年くらいの状態で妊娠したんじゃないですかね、まだ小さかったので。」



「その話を聞いて不憫に思つたといいますか、私の所以外でエサが取れないで毎日朝は必ず来ていました。毎日私がご飯をあげていたので、じゃあうちで飼おうと決意しました。捕まえる方法は考えてなかつたので夏休み後にしようかなと。そのころから近所の人に聞いてみて、ケージは用意していました。何回かやってみたんですけどダメでしたね。」

「ケージを用意するだけじゃだめなんですか！」



「金網状のものには近づかないんですよ。捕獲器にかかっちゃってたんで、トラウマがあるんですよ。絶対に近づかないです。」

～くーみんVSヤンキー猫（ウルフ・ちょび）～



「夏は日が昇るのが早いので朝3時台にはくーみんが来て待ってるんですよね。」



「しかも玄関で待っていればいいじゃないですか。なのにずっと道路の上でお座りしているんですよ。そのうえくーみんが来るのを妨害するヤツが2匹いるんですよ。ウルフとちょびという名前の猫です。道路を我が物顔で歩いちゃってるんですよ。」



「こいつらがいるとくーみんは来られないんですよ。くーみんの通り道をわかっているので待機しているんです。」



「くーみんだけ縄張りが違うんですよ。違うルートから食べに来るので見慣れないやつを攻撃していたのかもしれません。」



「多分。メスの猫だと100m四方くらいしかないらしいんですけど。オスはもっと広いので近くでエサが取れないから越境して来ているんでしょうね。」



「私が外に出て退治しないといけないです。くーみんは他の猫が怖いんでしょうね。まずこいつらを追い払ってくれるようになります。中々時間がかかるから越境して来ているんでしょうね。もう授業の前に8000歩歩いていました。」



「これが習慣になって、何時にごはん出すなどのスケジュールが決まりだしたのが夏休みくらいです。」



「みんな玄関前に置いておけば食べてくれるんですよ。くーみんだけ私が直接あげないと食べないです。みけこなんて1日3回くらい来てよく遊んでいました。」



「というよりも、小分けのエサを開けるときにちょっとかい出したり、追加すると私に猫パンチしたりするようになりました。」



「猫パンチするというと結構近い距離にいますよね？」



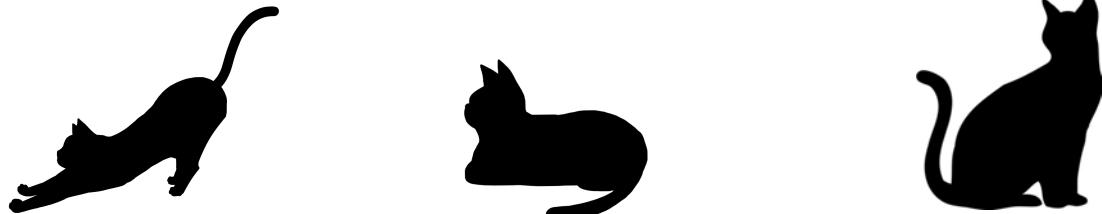
「食べているところをぎゅっと捕まえられないのでしょうか？」



「猫はものすごく素早いので無理なんですよ。ジャンプだって人間より高く飛ぶんですから。」

齋藤先生

猫ちゃんと仲良くなりつつ、くーみんちゃんの過去を知った齋藤先生。次の章では、捕獲器にトラウマを持つくーみんちゃんをどう捕まえるのか、先生の奮闘を追います！！！



第三章 ネコキヤツチ大作戦 -war of HOKAKUKI- 2020.09~12



「捕獲器ではなくケージを使って何とか捕まえようと思っていました。ガチャンって閉まらないやつですね。」

齋藤先生

「閉まらないやつを5月に買って、10月から使われたんですか？」



「そうですね。近所の方から捕獲器じゃ捕まらないんじゃないですか？ってアドバイスをもらっていたので。」

齋藤先生

「地域猫の元締めの方ですね！」



「はい。くーみんを捕まえたのも元締めの方です。当時くーみんに避妊手術を受けさせるために捕獲器を使ったみたいなんですよ。仕方がないことなんですけど、くーみんにとってはトラウマになってしまったんでしょうね。」

齋藤先生

「全く入らないのでしょうか？」



「どうしても近づかなかったんです。エサとかご飯もいたんですけど中々入ってくれなくて。なのでタオルとかで隠したんですけど。」

齋藤先生

「9月から本格的に捕獲しようと？」



「そうですね。ケージは無理だと判断しました。金網にトラウマがあるならケージも捕獲器もどうせ同じだと思って、捕獲器を買ってみたんです。」

齋藤先生

「おお！！」



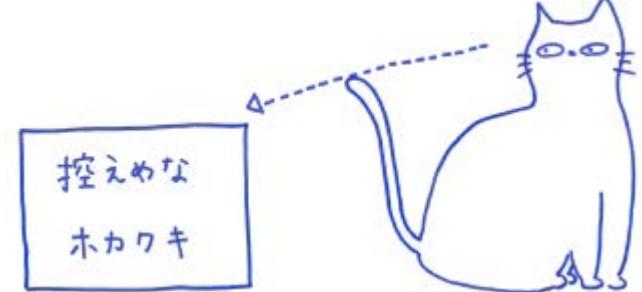
「最初は置いておくだけにして、タオルとかで隠していました。置いてから1ヶ月くらい経った10月くらいに中に入ったんですよ。けれども一番奥までは行かないんです。奥まで行かないと作動しないんですよ。」

齋藤先生



「扉が落ちて来ないのでしょうか？」

控えめな
ホカクキ



「そうです。閉じることさえできれば捕まられるんですけど、どうしても作動するところまでいかない。覚えていたんでしようね。」

「捕獲器にく一みんが入っているときに先生が出口を塞ぐとかも難しいのでしょうか？」



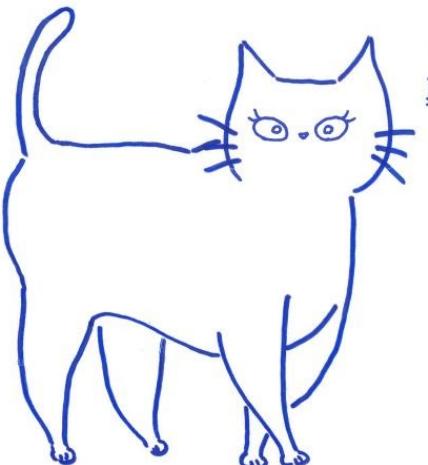
「無理ですね。」



「タオルで隠すのも難しいのでしょうか？」



「まず私が捕獲器から2m以上離れていないと入ろうとしないんです。こちらが動くと逃げちゃうんですよ。ちょっと音がしてもダメだし、風が吹いただけでもダメです。」



「非難の目で見るんです。」



「中々難しいんですね…」



「いろいろ調べて手動にする方法を見つけました。12月末くらいに手動にする方法にしました。」



「手動というのはどんな仕組みなのでしょうか？」



「私がひもを引っ張って扉を締めるんです。」



「それが、扉が閉まりきる瞬間に頭突きして逃げたんです。そんなことできるんだってくらいのパワーで。」



「今はく一みんだけ捕獲しようとしていらっしゃるんですか？」



「そうですね。く一みんとみけこをいつか家猫にしたいと思っているんですけど、みけこは金網状のものを見ただけで近づかないです。みけこ専用のものを買って1、2回見せたんですけど全く近づかなかったです。なのでご飯をあげているだけですね。」

～みけこ🐱 VS く一みん😺 仁義なき戦い～



「寒くなるころですね。く一みんが捕獲器に入りかけて失敗したころなので10月末くらい。いきなり寒くなった日があったんですけど、猫もきついみたいでみけこさんが明らかにいつもと違う様子で私に近づいてきました。」



「猫も寒くなると人肌恋しくなるんですね！」



「みけこさんは見かけは小さくて可愛らしいんですけど、もう中年くらいですしね。明け方に弱々しい感じだったんで家に入るんじゃないかなって。」



「寒さに耐えられなかつたのでしょうか？」



「こっちおいでって言ったらついてくるんですよ、家に！！」

齋藤先生



「ドアを開けようとしたら、くーみんが猛然と飛んで来たんですよ！」

齋藤先生

「ええ！」



「ものすごい勢いで走ってきて、みけこを追い払いに来たんですよ。」

齋藤先生

「それは！三角関係、、？」



「それでみけこはうちに近づかなくなっと。」

齋藤先生



「ええ、モテます。」

齋藤先生



～くーみん物、ついに捕獲…？～ 2020.10

「それからくーみんはどうなったのでしょうか？」



「この前自分から家の中へ入ったんですよ。ただ私が外にいないと入らないんで、ドアを開けっ放しにしています。ただエサを食べるわけではなく、玄関の方にいるんですよ。そういう時にドアを開けると家の中に興味津々なんですよ。猫って好奇心があるので。玄関に来て2回目くらいに、うちの段差を乗り越えて家の中まで入ってきたんです！」

齋藤先生

「ええ！グイグイ来る！」



「ドア閉めたらどうかなって思ったんですけど、挟んじゃったらかわいそうだし。」

齋藤先生

「そうですね、。。」



「自分が外にいてドアを閉めたら2度と開けられなくなっちゃうしと思って。もっと中に入って、家の中からドアを締めれば良いんでしょうね。家の中に仕掛けを作ればいいのかとも考えたんですけど、十中八九猫が引っかかるっていう罠とかをことごとくすり抜けましてねえ。」

齋藤先生

「あらら、。。」



「そもそも三毛猫はかかりにくいって聞きますし、メスで警戒心も強いから仕方ないんですけどね。他の猫種は捕獲器にすぐ引っかかる子とかもいるのに。」

齋藤先生



「先生とくーみんちゃんが家の中にいて、誰かが外から締めるのではダメなんですかね？」



「それが手っ取り早いんだけど、家の奥までどうやっておびき寄せるかが問題なんですよね。好物とかおやつを置けばいいけるかもしれないんですけど、他の猫が来るでしょうね。おそらくちょびが来るはず(笑)。」

齋藤先生

「ただ工サを置けば良いという問題ではないんですね。」



「くーみんを呼ぶとちょびが来るし、音鳴らすとちょび来ちゃうし、駄々こねて出てこないときとかに鳴らすんですけど、なんか最近反抗期なんですよ。」



「ご飯食べている途中に遊びに行っちゃって(笑)。」



「行けるところは行きます。人の敷地に入ったりすると難しいんですけど。いなくなったらなと思ったら、隠れてずっと私を見てるんですよ。」



「さあ～。写真を撮って、もういないのかなって思って撤収し始めたら出てくるんです。」



「ええ！」



「遊ぶつもりなのかもしれませんね。朝は2時間でも3時間でも付き合います。そのために3時半起きしてますから。」



～くーみん捕獲、ついに捕獲…？②～ 2020.12.29



「捕獲器から脱出した時、がしゃーんって音がしたから、ケガしていないかなと思って見に行ったんですけど、すぐ家の向かいの駐車場まで逃げていましたね。そこでトラウマになったんでしょう。」

「あらら！」



「ケガしないようにクッションを付けておいたんですけど、それがダメだったのかもしれません。まあケガさせたくないで仕方ないですね。」



「ケガさせてしまったら元も子もないですもんね…。」



「そこで捕獲器を買い換えたんです。今までMサイズだったんですけど、Lサイズにしました。」

「サイズが上がると効果があるのでしょうか？」



「多少は入りやすいのかなとは思います。」

「そんなに変わるんですか！？」



「Mサイズだと低い姿勢で入るんですけど、Lサイズにしたら歩く姿勢で入れるようになります。けど、最初は全然近寄らないですよ。」



「エサとかおやつを置いてもダメなんですか？」



「ええ。なので最初は置きっぱなしにして、慣らしていました。それを続けていたら、冬休みの講習中に中で食べるようになったんですよ。」



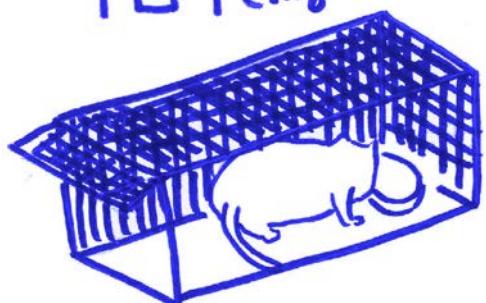
「1日1cmずつご飯を置く場所を捕獲器の奥の方にずらしていたら、中に入ってくれました。」



「また前と同じように捕獲器の中で落ち着いて食べていたんですよ。でもいつも閉じ込める扉の手前にいるんですよ。そこで私は決意したんです。手動で扉を締めようと。」



1日1cm。



「捕獲器の中で自動で扉を締めるには、扉を締めるスイッチを猫が踏まないといけないんですよ。くーみんはもう何回も捕まっているから、場所がわかるんですよね。段ボールで隠してもわかっちゃうんです。」



「何回か落ち着いて食べているのを確認した上で、もし捕まったときに動物病院にいけるように年内で決着を付けようと。」



「ついに入ったんですよ！」



「はい。がしゃーんって音がしました。すごい焦ってがたがたしていました。そういうときはタオルをかけた方がいいって聞いていたのでタオルを取りに行きました。」



「タオルを取りに帰って気づいたらすごい静かなんですよね。」



「中を見たらいなくなっていました(笑)。」

「ええ！ どうやって逃げたんですか！」





「絶対に逃げるわけないって思ってたんです。捕獲器っていうくらいなのに、てこの原理で閉まるようになっているんです。だから中から押すと開くんですよ。外から開けると力がいるんですけど。」

齋藤先生

「捕獲器なのに！？」



「猫が中から勢いよく押すと開いちゃうんですね。ただその時は逃げるわけないと思っていましたから、幻だったのかと思いました。」

齋藤先生

「ま、まぼろし～！」



「その頃私にしか見てないんじゃないかなって思うこともありました。近所の人も『いるんですか？』っていう時があって。」

齋藤先生

「えっ」



「夜は保護色になって見にくいときがあるからいるはいるんでしょうけど。捕獲器に入っているときは近所の人が『入っているね～』って言っていたので存在しているんだろうと。」

齋藤先生

「ホッ」



「その時はもう膝をつきました。がっくりと。冬期講習中だったので、生徒に愚痴を言おうと思って。全部の授業で言いました。」

齋藤先生

「あとちょっとだったのに、、。」



「そのときにちゃんと捕まえていれば、晴れて新年を迎えたんです。」

齋藤先生

「悔やまれますね…。」



「もう半年経っちゃいましたね。後で捕獲器のアゾンレビューとか見たら、外に出ることがありますよって。事前に読んでいたのに、開くわけないだろという思い込み。猫のパワーを舐めていました。」

齋藤先生

「まさか開くとは思いませんよね。」



「猫の身体能力ってすごいんですよ。その頃は大きくなかったのに。」

齋藤先生



「捕獲器って外から押すのと中から押すので力の差ってあるんですか？」

齋藤先生



「結局てこの原理なので支点から遠い所からなら開けやすいんじゃないですかね？後で中から開けてみたらすぐ開いちゃいました(笑)。」

齋藤先生



「ええ意味ない！」

齋藤先生



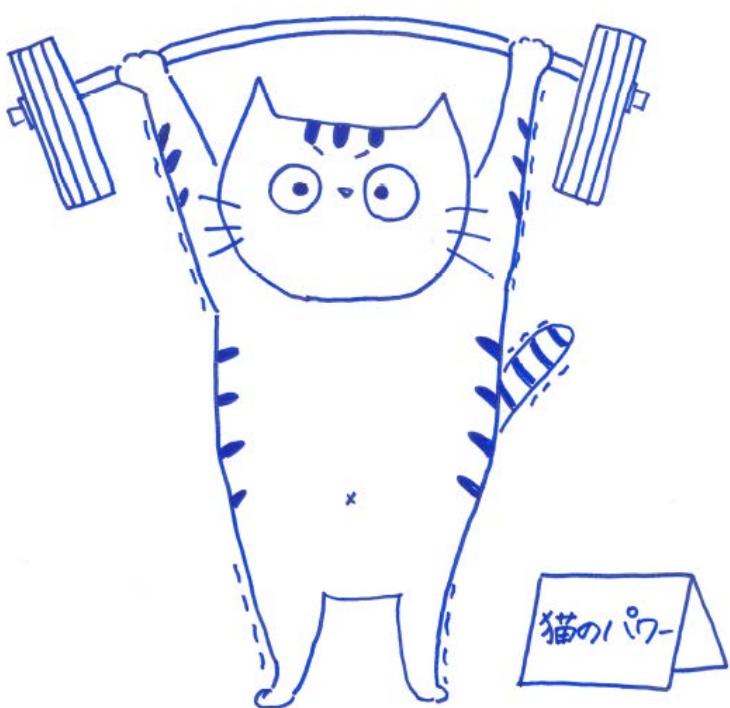
「他の猫は怖くて扉を開けようとせずに横から出ようとするんですよ。ただくーみんなは経験があるので押せば逃げられるってわかっているんだと思います。」

齋藤先生



「押せば出られるんだって気づいたんですね！」

齋藤先生



第四章 センチメンタルくーみん 2021.01~05



「そうでしょうね。知恵を付けちゃったんでしょうね、私が失敗するにつれて。そこで何をしたかというと、また捕獲器を新しくしました。今度は開かないやつにしました！」

齋藤先生



「捕獲器をバージョンアップされたんですね！」



「もう閉まつたら絶対に開かないやつを買いました。でも一切近づかないです。」

齋藤先生



「ええ！惜しいところまで行っちゃうと次のハードルが高くなっちゃうんですね。」



「1回失敗するとプロも助けてくれないんです。檻ってわかってて入るわけないですよね。でも他のプロによっては必ず忘れるという人もいたので、捕獲器を新しくしてみました。」

齋藤先生



「あれ、でも先生は何回も捕獲器で捕まえてますよね？」



「はい。2回かけてます。くーみん自身は避妊手術するときも捕獲器に引っかかったので3回かかるでいます。」

齋藤先生



「先生プロ顔負けじゃないですか！！」



「ええ。だから逃がした日すぐ買いました！全く家にも近づかなくなつたんですよ。向かいの駐車場で待ってるんですよ。」

齋藤先生



「先生の家から離れたところで待つようになったんですか？」



「いつもより遠くなっちゃって、しょうがないからそこまでご飯を運んであげました。
Uberサイトウ。(ボソッ)」



「先生は猫ちゃん専門の配達員さんをされているんですね！」



「駐車場で待たれるとすごい近所迷惑になっちゃいまして、しばらくしたら駐車場のお隣の家で待つようになりました。その人は猫好きな方なので安全なんんですけど。お隣の家だとカメラに映らないので来ているのかわかんないんですよね。」

齋藤先生



「カメラで見えないと心配ですね…。」



「今までではカメラに映って待ってたんですよ。最近やっと家に近づくようになりました！暖かくなるまですっとお隣さんの家で待ってましたね。」

齋藤先生



「ホッ」



「そんな状況ではありました。捕獲器を見せるようにしていたんです。金網が見えないように段ボールで覆うようにして。中も外も段ボールで覆ってみたら、近所の人から逆に怖いよって言われたりもしましたんですけど。」

齋藤先生



「確かに怪しげですね(笑)。」



「段々外していました。また年末くらいには中に入るといいなって思ってます。それに向けてまた新しい捕獲器を注文しました、アメリカに。」

齋藤先生



「え！！アメリカから輸入されるんですか！」



「もっと大きい捕獲器を注文したんですけど、6月中旬に到着するみたいです。(笑)」



「特注品みたいなやつなんで仕方ないですね。後ろがシースルーになってて、穴が開いているように見えるらしいんですよね。それがすごく良いですって書いてあったので、アメリカの専門業者から購入しました。」



「何だかすごそうですね！」



「今までのものだとくーみんが窮屈そうに見えちゃってね。体が大きくなっちゃったので。ほんとは猫は狭いところがいいから小さい方がいいって聞いていたんですけど、すべての猫がそうというわけではないんですね。逃げられるスペースがある方が良いんですよ。」



「大きさ以外も大変ですね。段ボールだと感触を覚えているらしくて、最近コルクのシートを敷き詰めるようにしたら中に入るようになりました。踏みながら大丈夫かなって確認しているみたいですね。」



「中にクッションとか置いてリラックスできるようにするのはダメなのでしょうか？」



「うーん。人工物があるとダメなんですよね。土の上が良いみたいですね。他の猫なんて段ボールでも入ってくるんですよ。エサさえあればね。」



「現金な子もいるんですね(笑)。」

第五章 これから 2021.06～



「そうですね、くーみんがついに捕獲器の奥まで入りました！」

「最近(6月)は何か大きな動きはありましたか？」



「おめでとうございます！！」



「あと、みけこが家の近くまで来て待ってくれることもありました！くーみんとバトルしちゃった後、1回も近くに来てくれなかつたんですよ。」



「みけこちゃん完全に怯えちゃったんですね…」



「で、今日見に行ったらみけこがお迎えに来てくれて、嬉しいUberサイトウしちゃいました。」



「最近またく一みんなが家に入ってくれることもあったので、そろそろ家の中にも仕掛けを作ろうかなと思っています。」



「上から網を落として捕まえるとか、同じように捕獲器を室内にも仕掛けるとか、いろいろありますね。ぜひ葛西教室の生徒さんの中にいいアイデアがあれば教えてほしいです。」



「今のところはちゅ～るのようなおやつが一番効果的なのかなと思いますけどね。猫がおいしい匂いにつられてずんずん家の中に入ってくれるといいですね。」



「今まで授業では断片的にしか伝えられなかったので、これを読んでもらって全体を把握してもらいたいなと思います。読んでみて気になったことは気軽に聞いてほしいです！個人的には捕まえるアイデアが欲しいんですけども。」



「私のポリシーもあるのですが、『猫に優しく、人に厳しく、自分に甘く』を伝えたいですね。大きな文字で載せておいてください。」

最後まで読んでいただき、ありがとうございます！齋藤先生の授業を受けている生徒さんは、「あの時の話はのことだったのか！」とピンと来るのではないでしょうか？齋藤先生の猫活はこれからも続きます！今後も熱い視線で見守ります！

猫に優しく 人に厳しく 自分に甘く



追記：くーみんついに捕まる！！ (?)



「先生！！くーみんちゃんが捕まったって本当ですか！」

「はい。6/23早朝4時頃、捕獲器の中に入ってご飯を食べている時にドアを閉めました。」

「え！！ついに捕獲達成されたんですね！！おめでとうございます！！」



「夢じやないよなって何度も確認しました。昨年の12月に捕獲した時は目を離したすきに逃げてしまったので。」



「幻覚じゃなくて本物のくーみんちゃんを捕まえられたんですね！」



「ええ。捕獲器のまま抱きしめてすぐに動物病院に連れて行きました。動物病院まで歩いて10分の距離なんですけど、タクシーを呼び出して行きました。」



「動物病院！」



「捕まえたらすぐに連れて行こうってずっと考えていたんですよ。捕獲器の中にくーみんがいることが本当に嬉しくて。私が大学に受かった時よりも嬉しかったんです。」



「わあ！先生の猫活が実を結ばれたんですね！」



「そうですねえ。動物病院から帰ってきて、急いでケージ、トイレを組み立てたり、ケージの中も過ごしやすいように色々置いたり、とにかく急いで準備したんです。あとカメラも家の中に付けました！」



「目まぐるしい急変っぴり！」



「捕獲器からケージに移したんですけど、様子がおかしかったんですよね。動物病院で採血された後くらいから怖かったのかガタガタ震えちゃって。一旦仕事に行くために家を空けたんですよ。」



「…まさか。」



「仕事先でカメラを確認したら半狂乱になっていました。鳴くわ、喚くわ、あちこちに体当たりするわ。ケージの中におやつちゅ～るは用意していたんですけど、ちょこっと食べてまた暴れていきました。」



「外暮らしが長いと不安になってしまうのでしょうか？」



「どうでしょう。一晩明けて、木曜日の朝ですね。いつものように他の猫達にご飯をあげていました。ただ一つ違うのは、みんなが食べた後に家に帰ろうとドアを開けたらトコトコ歩いて脱走されたことですね。」



「…え！！！！！！！」



「まさかケージから出るなんて思ってもいなかったので、くーみんが幽体離脱したのかと思いました。さすがに落ち込みましたね。後でわかったんですけど、ドアをこじ開けていたんですよ。そこから脱走したみたいです。」



「そんな、、また捕獲に向けた猫活が始まるんですね…。」



「そうですね。でも捕獲器に慣れていることは確実ですし、そんなに後戻りになるとは思っていません。ケージの中でちゅ～るをかじってから逃げたので、多少は落ち着いていたのかなと思います。」



「はい。今回はくーみんの身体能力の高さが私の想像を超えてきたのが敗因かなと思います。くーみんは4回捕獲器にかかっているので、また入った時に快適に過ごせるように部屋の模様替えをしてみます。」

「美味しいものは逃さず食べるんですね(笑)。」



「やはり先生の猫投資は規模が違いますね！」



～他の猫たちの近況♪～



「ええ。みけこはくーみんが捕獲器にかかって動物病院に連れていかれるところまでの一部始終を見ていきました。いつもくーみんにいじめられているので内心『ヨツシャ！』って思っているんじゃないかなあ。」



「猫はよく見ているんですよ。あと最近は白小もご飯を食べに来るようになりました。私がいないと食べないので、かなりなついてきてくれていますね。」



「体が小さいので他の猫より弱いんでしょうね。エサもうち以外では食べられないんだと思います。」



「中々生き抜くことが難しいんですね。白小ちゃんもいつかお迎えされるんですか？」

「猫ってその辺もわかるんですね！」



「あら！ ニューフェイス！」



「みけこちゃんなど他の常連猫達はお元気でしょうか？」



「そうですね！ 先生の猫活はまだまだ続きますね！」



番外編 猫ごはん♪



「ねこ元気をあげてます。2kgで600円ぐらいのもので、小分けになっているのであげやすいんですよ。」

「猫ちゃん達のご飯って何をあげていらっしゃるんですか？」



「みんな食べなくなつたんですよね。あ、でもそれが好きなやつもいるなあ。くーみんとみけこにはもっと小分けになつてあるやつをあげてますね。」

「お得ですね！」



「あれ、三ツ星グルメっていうやつもあげてたっけな。」

「猫ちゃんでも好みが分かれるんですね。」



「え！！高級そうなやつですよね！」



「いや、そんなに高くはないです。ちゅ～るの方がもっと高いです。月に1万2千円くらいかかるってます。」



「なのでア○ゾンでまとめ買いしてます。くーみんを捕まえるためなんで。1日4本までなんですけど、マックスあげてますね。来るたびにあげちゃって。おかわりのときにあげないと機嫌悪くなっちゃうんですよ。」



「また年末の捕獲作戦にむけて機嫌を取らねばですね。」



「そうですねえええ。大変なんですねえええ。なんとしても警戒心を解かないといけないんです。いやあ大変です。好きでやっているんですけどね。」



「ちゅ～るって味の種類がたくさんありますけど、猫ちゃん達は値段の違いとかわかるのでしょうか？」



「わかりますよ！玄関の前に残ったちゅ～るを置いておくんですけど、通りすがりのやつが必ず食べていますね。しかも美味しいやつ。スズメすら美味しいやつを選んでますよ。」



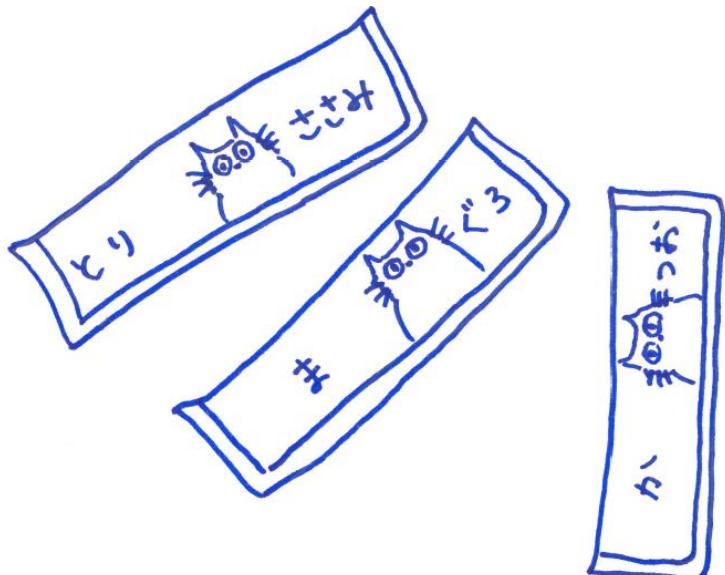
「味とか気にしないのはたぬきとカラスですね。何でも食べていますね。」



「ありますね。くーみんが好きなのは、鳥ささみのイカ風味ってやつですね。この味がおやつのときなら捕まえやすいのかもしれません。」



「あと、なるべくおやつちゅ～るはあげたくないで、総合食ちゅ～るをまぜてあげています。体に悪くないので。」



「ええ！ちゅ～るすごい！」



「ちゅ～るの中で人気の味ってあるんですか？」

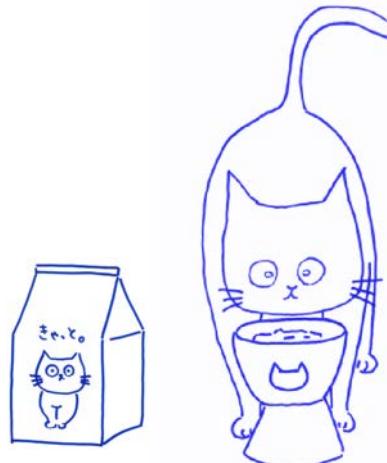


「そうなんですね！」



next page

齋藤先生と猫ちゃんの 相関図





♂ 5-6才 黒猫
大人しい・くーみんが好き・弱い



好きッ



しつこい



♀ 2才 三毛猫
臆病・みけこにジェラシー・天然



♀ 10才 三毛猫
臆病・先生と散歩・賢い



怖い



シャーッ

先生ッ



仲良し

↑ 仲良し ↓ 先生ッ

齋藤先生と猫 相関図



♀? 1才 白猫
臆病・体が小さい・時たまに放浪



ヨッ



いつも
いるね



↑ シャーッ ↓ ポス



♂ 5-6才 白猫
ポス・優しい・怖がられる

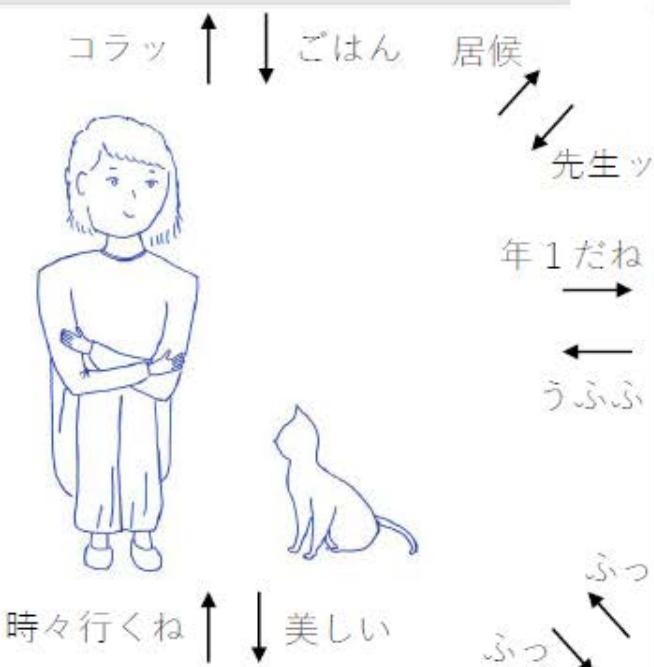




♂ 10才 黄白猫
もふもふ
見た目気弱・実はいじめっ子・シャイ



♂ 20才 黒猫
もふもふ
いじめっ子・居候・最近ボケ気味



♀ 10才 三毛猫
元気・よくいじめられる・美しい



♂ 10才 雜種
臆病・周りを気にしない・仮面ライダー似



スケジュール

月 日 曜		受付	本科生スケジュール				本科生以外の方対象のイベントなど	
7	28 水	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 英数国理社 講習①	2V 英数国理社 講習①	2K 英数国理社 講習①	1V 英数国 講習①	
	29 木	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 英数国理社 講習②	2V 英数国理社 講習②	2K 英数国理社 講習②	1V 英数国 講習②	
	30 金	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 英数国理社 講習③	2V 英数国理社 講習③	2K 英数国理社 講習③	1V 英数国 講習③	
	31 土	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 英数国理社 講習④	2V 英数国理社 講習④	2K 英数国理社 講習④	1V 英数国 講習④	
8	1 日	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 英数国理社 講習⑤	2V 英数国理社 講習⑤	2K 英数国理社 講習⑤	1V 英数国 講習⑤	
2 月 休室								
3 火	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 英数国理社 講習⑥	2V 英数国理社 講習⑥	2K 英数国理社 講習⑥	1V 英数国 講習⑥		
4 水	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 英数国理社 講習⑦	2V 英数国理社 講習⑦	2K 英数国理社 講習⑦	1V 英数国 講習⑦		
5 木	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 英数国理社 講習⑧	2V 英数国理社 講習⑧	2K 英数国理社 講習⑧	1V 英数国 講習⑧		
6 金	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 英数国理社 講習⑨	2V 英数国理社 講習⑨	2K 英数国理社 講習⑨	1V 英数国 講習⑨		
7 土	9 ~ 21	夏期講習(前期)	3K 確認テスト 英数国理社	2V 確認テスト 英数国理社	2K 確認テスト 英数国理社	1V 確認テスト 英数国		
8 日	10 ~ 20	休講日						
9 月 休室								
10 火		休室						
11 水		休室						
12 木		休室						
13 金	9 ~ 21	夏期講習(後期)	3K 実戦演習①	2V A日程 実戦演習①	2K A日程 実戦演習①	1V A日程 実戦演習①		
14 土	9 ~ 21	夏期講習(後期)	3K 実戦演習②	2V A日程 実戦演習②	2K A日程 実戦演習②	1V A日程 実戦演習②		
15 日	9 ~ 21	夏期講習(後期)	3K 実戦演習③	2V A日程 実戦演習③	2K A日程 実戦演習③	1V A日程 実戦演習③		
16 月	9 ~ 21	夏期講習(後期)	3K 実戦演習④	2V A日程 実戦演習④	2K A日程 実戦演習④	1V A日程 実戦演習④		
17 火	9 ~ 21	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑤	2V A日程 実戦演習⑤	2K A日程 実戦演習⑤	1V A日程 実戦演習⑤		
18 水		休室						
19 木	9 ~ 21	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑥	2V B日程 実戦演習①	2K B日程 実戦演習①	1V B日程 実戦演習①		
20 金	9 ~ 21	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑦	2V B日程 実戦演習②	2K B日程 実戦演習②	1V B日程 実戦演習②		
21 土	9 ~ 21	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑧	2V B日程 実戦演習③	2K B日程 実戦演習③	1V B日程 実戦演習③		
22 日	9 ~ 21	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑨	2V B日程 実戦演習④	2K B日程 実戦演習④	1V B日程 実戦演習④		
23 月	9 ~ 21	夏期講習(後期) テスト	3K 實力テスト 英数国	2V B日程 実戦演習⑤	2K B日程 実戦演習⑤	1V B日程 実戦演習⑤		
24 火	14 ~ 21	休講						
25 水	14 ~ 21	休講						
26 木		休室						
27 金	14 ~ 21	休講					19:30~20:30 中3夏期授業報告会(Zoom)	
28 土	9 ~ 21	休講	中3 模試 自校作成テスト				13:00~14:00 中1夏期授業報告会(Zoom)	15:00~16:00 中2夏期授業報告会(Zoom)
29 日	10 ~ 20	本科9月度①						
30 月	14 ~ 21							
31 火	14 ~ 21							
9	1 水	14 ~ 21						
2 木		休室						
3 金	14 ~ 21							
4 土	14 ~ 21						15:00~16:50 小6公開実力テスト+講演会	
5 日	14 ~ 21	本科9月度②						

Z会の教室

〒134-0084 江戸川区東葛西 6-2-3 第三須三ビル 6 階 TEL03-5878-0844

受付時間 平日 14:00~22:00 日曜日・講習中 10:00~20:00

『葛西通信』の記事（バックナンバー）は Web からもご覧いただけます。

Z会 葛西

検索